

「十和田と八戸の文化財の魅力」

若者目線で見た文化財観光資源の活用 — 十和田・八戸めぐり

私たちは今回の高校生文化財魅力発信事業に参加して、高校生の実測調査を支援する傍ら、十和田と八戸の文化財を若い世代に向けた観光資源として活用できないか考えてみました。

今回の文化財講習会と調査を通じて学んだ点は以下の通りです。

文化財の種類とは

- 1.有形文化財:建造物、美術工芸品
 - 2.無形文化財:演劇、音楽、工芸技術他
 - 3.民俗文化財:衣食住、生業、信仰、行事、それら衣服・器具・家屋等
 - 4.記念物:遺跡、名勝地、名勝、動物、植物、地質鉱物
 - 5.文化的景観:地域の風土により形成された景観地
 - 6.伝統的建造物群:歴史的風致を形成している伝統的な建造物群
- 講習会より

対象が広いこと。普段意識していないものも文化財であること。今後、文化財になりそうなものもあること。



- 1.既にある文化財
- 2.これからなりそうな文化財
- 3.文化財ではないが地域に根差した資源
- 4.文化財ではないが観光客に人気のある資源
- 5.文化財ではないが若者に人気のある資源

以上の着想から、十和田と八戸の文化財を若い世代に向けた観光資源として活用できる可能性は高いと考え、サークルのメンバーでプレストを行いました。そして、次の五つの要素を組み合わせ、同世代の友人をまち案内するツアープランを考えてみました。二泊三日で八戸駅スタートです。



官庁街通り



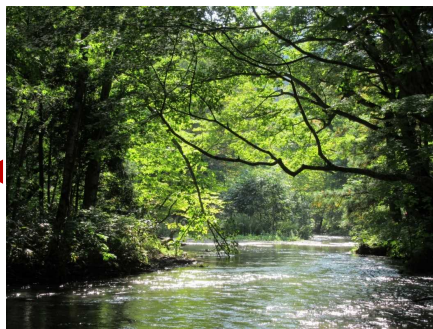
十和田市現代美術館



切田八幡神社



小田八幡宮



奥入瀬溪流



法量農村公園



根城史跡



櫛引八幡宮



種差海岸